

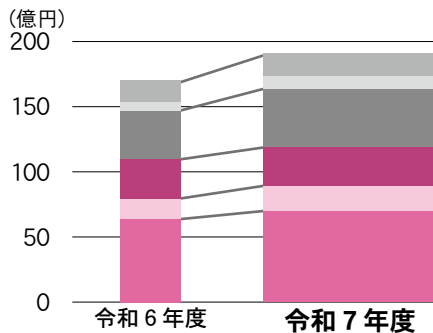
令和7年度 幸手市一般会計予算

192億9,000万円 (前年度比 12.4%増)

主な新たな施策

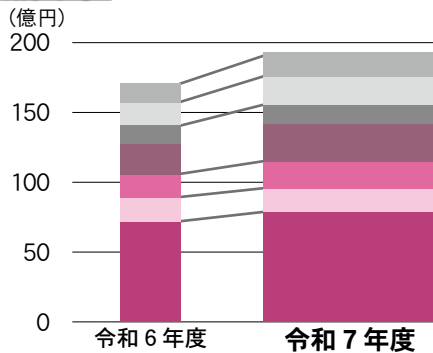
- こどもの居場所づくり運営経費に関する補助 3,051 千円
- 学校再編に伴う学校施設の整備 127,577 千円
- 空き家等対策 6,543 千円
- 新たに有機農業への転換を行う生産者への支援 1,000 千円
- 河川やポンプ場の整備 215,569 千円
- シティプロモーション映画の製作 30,000 千円
- 庁内DX化の推進 7,677 千円

歳入



- その他依存財源 9.2% 前比 105.6%
- 市債 5.0% 前比 150.4%
- 国県支出金 23.2% 前比 119.6%
- 地方交付税 15.8% 前比 99.5%
- その他自主財源 10.2% 前比 128.7%
- 市税 36.5% 前比 108.6%

歳出



- その他 議会費・農林水産費・労働費 9.1% 前比 124.4%
- 衛生費 市の衛生のために 10.3% 前比 121.0%
- 公債費 借りているお金の返済 7.0% 前比 98.1%
- 総務費 組織管理の経費 13.9% 前比 124.2%
- 教育費 学校や生涯学習のために 10.1% 前比 117.2%
- 土木費 土木工事などに 8.4% 前比 98.0%
- 民生費 福祉などの充実のために 41.2% 前比 109.6%

令和7年 3月定例会

3月定例会議会は2月19日から3月18日までの29日間の日程で開催
令和7年度一般会計予算を含む市長提出議案27件が可決
 (予算8件、補正予算7件、条例改正12件)
■ 会議案 幸手市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例を含む4件が可決

歳出性質別

(単位：千円)

区分	予算額	前年比
義務的経費 50.7%		
人件費	3,637,124	109.1%
扶助費	4,788,075	112.5%
公債費	1,346,461	98.1%
投資的経費		
普通建設事業費	1,354,311	266.3%
物件費	3,665,663	113.0%
維持補修費	132,205	67.2%
補助費等	2,113,639	98.8%
繰出金	2,086,654	107.4%
積立金	104,367	102.1%
貸付金	31,501	100.0%
予備費	30,000	100.0%
合計	19,290,000	112.4%

令和7年度

特別会計・企業会計予算

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	54億5,845万9千円
後期高齢者医療特別会計	9億9,204万7千円
介護保険特別会計	46億3,907万4千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	3億4,841万3千円
水道事業会計	16億3,975万5千円
公共下水道事業会計	15億8,442万2千円
農業集落排水事業会計	6,048万7千円

令和7年3月定例会
本会議議案質疑内容

(議案第19号)

令和7年度幸手市
一般会計予算

可決

質疑

シティプロモーション映画製作の予算内容について。

答弁

映画製作に係る補助金3千万円の内訳として、市民向け映画セミナーやワークショップ開催に係る費用が約150万円、監督や脚本家、撮影スタッフ、俳優などの人件費、撮影、編集などの映画製作全般に係る費用として約2290万円、映画館に展示するポスターや予告編動画の製作等の映画宣伝費として約300万円、あとは消費税分として260万円となっています。なお、財源として、県補助金のふるさと創造資金2千万円、ふるさと納税寄附金等の寄附金1千万円を見込んでおり、一般財源を使用しない形です。令和7年度に新たにクラウド

ファンディングなどで寄附の募集をし、そちらを充当する計画です。

質疑

映画の内容について。

答弁

この映画は、プロの俳優が登場し、全国の劇場で有料公開される本格的な映画となっています。一般の商業映画と違うところは、製作は地域が主体となり、映画スタッフとともに地元の中高校生を中心とした市民が演技や脚本のワークショップを通じてオリジナルのシナリオをつくります。映画の舞台は幸手市となり、地域の魅力を発信するほか、地元の食材を使った新たな料理を開発し、公開後も新たな名物として実際に市内店舗での提供を目指すなどシティプロモーション、ふるさと納税の募集等に活用できる要素も含まれています。

具体的な脚本については今後製作いたしますが、幸手市で暮らす若者が主役の、いわゆる青春映画を想定しています。

質疑

映画撮影の経緯について。

答弁

幸手市のシティプロモーションの基本方針として、市民を含めたオール幸手の取組を推進することや、地域ブランドの確立、情報発信力の強化などが定められています。しかしながら、これまでの幸手市の情報発信能力は十分であるとは言えない状況でございました。このため新たな情報発信の手段としてシティプロモーションの基本方針と合致する事業を研究していたところ、他市町村の事例から劇場公開型シティプロモーション映画について知ることとなりました。

劇場公開型シティプロモーション映画は埼玉県内では初という話題性もあり、市民や幸手を愛する人々がまちの魅力を全国に伝える映画をつくり、関わることでシビックプライドも醸成されること、また劇場公開後も地域のレガシーとして様々な事業に展開できる可能性があることから、映画製作のための予算を計上させていただきました。

あわせて、令和8年度は市制施行40周年を迎えることから、令和7年度からの予算計上により、市制施行40周年を市民の皆様とともに迎える事業の一つと

して活用できるものと判断したため予算計上させていただきました。

質疑

映画はどこで、誰に対して上映するのか。

答弁

具体的な公開場所は、映画館を運営する会社と相談をしながら決定しますが、過去に製作された映画を参考にすると、まずは地元で先行公開を行い、東京、大阪、神戸、名古屋、福岡、札幌、仙台など、全国10から30か所の劇場で上映を目指します。また、劇場公開後はサブスクリプションでの配信も予定しています。

賛成討論

芦葉 弘志

情報発信・情報共有の充実に
ついて、シティプロモーション
映画を製作する経費が計上され
ました。これは市制施行40周年
を迎えるにあたり、市民が新た
な特産品開発に奔走するストー
リーです。市の魅力を全国にア
ピールすることについて、大い
に期待しております。昨年10月、
公明党幸手市議団として、令和
7年度幸手市予算編成並びに施

策に対する要望書を市長に提出いたしました。本予算は、要望内容を多数反映しているものと評価いたします。また、要望書の中で当初予算に含まれなかったものもありますので、補正予算を積極的に編成し、市民生活に必要な事業に対して、柔軟かつ迅速に対応していただけるよう求めます。令和7年度の事業執行に当たっては、事業内容の点検、精査の上、慎重かつ丁寧に執行されることを願い、会派公明党は令和7年度幸手市一般会計予算について賛成の討論といたします。

賛成討論

小泉 圭司

子どもの居場所づくりを支援する取り組みは、困難な時期の心の拠り所として重要です。また、埼玉県ふるさと創造資金を活用したシティブロモーション映画製作では、クラウドファンディングも活用され、市民参加をより重視し、住民協議を充実させる姿勢が示されています。市民と行政が協力し合うことで、支え合い温かい街づくりを進める重要な一歩となることを期待されます。私たち「市民の幸せをつくる会」は、市民の声

を尊重し支え合う理念のもと、こうした取り組みを心から応援します。

賛成討論

大平 泰二

幸手市は今後、市役所本庁舎（消防署含む）工期令和6年～令和14年度で、建設費55億8千700万円かかります。この他、杉戸町可燃ごみ処理施設基幹的設備改良事業、し尿処理施設基幹的設備改良事業、ごみ処理施設等整備事業、雨水排ポンプ場整備事業、小・中学校再編事業、体育館空調設置事業等、これらの7事業の合計が、145億9300万円。この内、起債（市債）発行が110億8700万円とされています。7事業を除く起債残高は、令和7年度末で111億円。さらに、その後新たな市債発行110億8700万円となれば市債残高は221億8700万円を超えることとなります。この他、駅西口土地区画整理の起債残高が5億8300万円もあり、財政計画はより慎重に行わなければなりません。こうした中、区画整理事業計画見直しを表明したことを評価し、賛成討論といたします。

議会の動き

幸手市議会DX推進会議の発足

情報と業務をデジタル化し、議会運営や議会活動に活用することで、新たな価値や利便性が創出されるよう、DXの推進に取り組む必要があることから、幸手市議会DX推進推進会議を設置しました。DXにより、本市議会の議会運営がよい方向に進むよう、活発な議論を重ねてまいります。

幸手市役所庁舎整備調査特別委員会の設置

令和7年3月議会において上程可決のうえ設置しました。幸手市役所庁舎整備に関する事項について調査を重ね、市に対してより良い庁舎となるよう、具体的な改善策や提案を積極的に提言してまいります。市職員と協力し、住みよい幸手市の実現に向けて努めてまいります。

幸手市議会議員の請負の公表に関する条例及び施行規則の制定

令和6年12月議会にて幸手市議会議員政治倫理条例及び施行規則が改正された事に伴い、令和7年第1回議会にて幸手市議会議員の請負の公表に関する条例及び施行規則を上程、可決し制定しました。請負の状況の透明性を確保し議会運営の公正及び事務執行の適正を図ってまいります。

令和6年度議員研修会

令和7年2月12日、全議員を対象とした議員研修会が開催されました。本年度のテーマは「DXの活用」で、茨城県取手市情報管理課の岩崎様をお招きし、議会のデジタル化に関する講義をいただきました。研修で得た知識を今後の議会運営に活かす、取り組んでまいります。

